

豪雪地で輝く皆瀬ダム取水塔

— 秋田県湯沢市 —

遠 山 泰 正

1. はじめに¹⁾

表紙写真の皆瀬ダムがある秋田県湯沢市は、県の南東部に位置し、宮城県、山形県と接しています。東から南にかけて奥羽山脈、西の出羽丘陵に囲まれ、それらの山々を源に南北に貫流する雄物川と、その支川である皆瀬川や役内川沿いに豊かな水田地帯を形成しています。東側には栗駒国定公園があり雄大な自然林を有しているほか、豊富な温泉群にも恵まれています。

気候は、内陸性気候で年間の気温差が大きく、1月と8月の月間平均気温では約25度の差があり、一年を通して風速1.8～2.9m前後の西北西の風が吹いています。また、降水量は年間1,610mm程度ですが、冬期には積雪が多く、最大積雪量は市街地で1m、山間地域では2mに達し、積雪期間は年間100日以上にも及び国内でも有数の豪雪地帯です。



図-1 皆瀬ダム位置図



写真-1 雪景色の皆瀬ダム（平成28年1月21日撮影）

2. 皆瀬ダムの概要²⁾

皆瀬ダムは雄物川の支川となる皆瀬川筋にあり、その上流は古くから小安峡としてその渓谷美がうたわれ、また温泉が河床より噴湯する「小安峡大噴湯」でも有名です。



写真-2 小安峡大噴湯³⁾

皆瀬ダムは昭和38年に多目的ダムとして秋田県が建設したダムです。農林水産省国営雄物川筋農業水利事業と併せて皆瀬ダム取水塔を建設し、灌漑用水の供給とともに秋田県営の発電所も附属しています。

ダム型式：表面遮水壁型ロックフィルダム

堤 高：66.5 m

堤 頂 長：215 m

湛 水 面 積：1.5 km²

総貯水容量：31,600,000 m³

有効貯水容量：26,300,000 m³

洪水調整容量：16,200,000 m³

灌 漑 容 量：12,000,000 m³

発 電 容 量：24,700,000 m³



写真-3 建設間もない時期の皆瀬ダム（小安峡湖）全景²⁾

3. この地域の国営土地改良事業の概要^{4~6)}

国営雄物川筋農業水利事業は水不足と氾濫被害を解消しようと昭和19年に着工し昭和56年に完工しました。

受益面積：水田 11,356 ha

畑 52 ha

合計 11,408 ha

主要工事：皆瀬ダム取水塔

ため池 1カ所

頭首工 2カ所

用水路 67.6 km

排水路 38.9 km

その後、国営雄物川筋農業水利事業から30~50年が経過し、施設の老朽化や農業生産環境の変化などによる用水不足の改善等を目的に、国営平鹿平野農業水利事業が平成13~25年度に実施されました。

また、雄物川の中流部右岸の排水施設を対象に、降雨形態の変化や土地利用の変化などに伴う湛水被害の防止を図り、農業生産の維持・向上と農業経営の安定を目的に、国営横手西部農業水利事業が平成24年度から着工されています（平成32年度完成見込み）。

4. 皆瀬ダム取水塔の概要⁷⁾

皆瀬ダム取水塔は昭和38年に国営雄物川筋農業水利事業で秋田県と共同で築造された施設です。

形式：表面水取水式円筒形シリンダゲート

塔高：42.5 m

5. おわりに

皆瀬ダム取水塔の屋根は見る場所や時間帯で光の当たり方が変わると銀色にもオレンジ色にも見え、背景の山並みに映えた四季折々の特徴的な景観を育んできました。

しかしながら建設から50年以上経ち、老朽化が進んだことや不測の事態に対応できるよう現在改修、改



写真-4 雪景色の中の皆瀬ダム取水塔（平成28年1月21日撮影）

築の計画が進んでいます⁷⁾。50年もの長いあいだ地域の景観として溶け込んできた取水塔も大きく姿を変えようとしています。

参考文献

- 1) 湯沢市：秋田県湯沢市市勢要覧「夢・街・道 ゆざわ」（2006）
- 2) 秋田県皆瀬・板戸ダム管理事務所：皆瀬ダムパンフレット（1988）
- 3) 湯沢市観光物産協会：小安峡大噴湯，<http://akitayuzawa.jp/midokoro0321.html>
- 4) 東北農政局：あなたの街の農業農村整備施設「雄物川筋」，http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/totikai/shisetsu/photo_akita/omonogawa.html
- 5) 東北農政局：平鹿平野農業水利事業所 事業の目的・内容，<http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/kokuei/hiraka/mokuteki.html>
- 6) 大泉勝利：横手西部農業水利事業雄物川筋農業水利事業の変遷に学ぶ，土地改良286，pp.18~23（2014）
- 7) （株）秋田建設工業新聞社：皆瀬ダム取水塔改修，2015年12月24日記事，<http://www.akks.co.jp/blog/2015/12/1224-lac1.html>